

大森分会だより

PLEASANT OHMORI



編集長
*:.:.
:.:*
菊池 弘至

どうやら猛暑確定の暑き夏

一時的に暑さが和らぐ日が数日程続きましたが、今年の夏は例年より暑い夏になるようです。そこで空調服について旬な話題を記してみます。

さて、空調服が世に出て10年も経過してない中、毎年高性能化して翌年には飛躍的な商品がどんどん出て来ます。歴史が浅い分、進化の過程でバッテリー容量と風量も毎年上がって来ております。空調服とは汗を気化させる事で涼しさを保つ仕組みです。

①空調服の服の部分

大きく分けるとベストタイプと半袖タイプや長袖タイプに分れます、裏地が有る無しも大きな要素。ベストタイプの利点は肩の稼動域が広く使えるので腕を上げたりする作業等に優れています。半袖タイプは脇の下にも風が通るので涼しさはベストよりも上ですが、肩の稼動域は狭くなるのが欠点。最近のベストタイプは脇下がメッシュ構造で、風が外に抜けて腕や脇近辺が涼しくなる進化を

遂げてます。ベストタイプを購入する時は脇下がメッシュ構造の服がお勧めです。

次に裏地が有る無しでも涼しさが変わって来ます、室内作業の時は裏地無しのお勧めです、ファンが弱い時でも適度に外の空気が通気し蒸れにくいです。逆に外作業がメインの時は裏地にチタンやアルミを練りこんだ生地を使った服がお勧めとなります。外の直射日光の熱を服内部に通さず、熱を軽減させる効果があるのです。

空調服の下には、吸汗・速乾・接触冷感のあるコンプレッションインナーを着るのが定番で、空調服の涼しさを大きくサポートします。抗菌・消臭効果があるタイプなら汗の不快感も気になりません。長袖、半袖、半袖でも首周りが開いた冷感シャツでも涼しいです。

空調服には風の通り道を付加した服もあり、風が通る部分が首筋に向かって抜けるように作られた服も有ります。他に保冷剤が入るポケット付きの服もお勧めです。



風の通り道が付加された空調服



保冷剤ポケットの位置は、背中下(左)より背中上(右)の方が涼しく感じます。



ベストタイプ(左)と半袖タイプ(右)

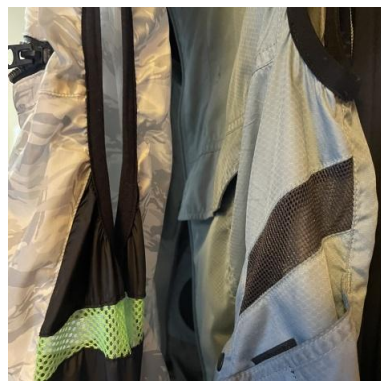


裏地無し(左)と裏地有り(右)



服に付加されない機能があれば工夫を。左は保冷剤ポケット無しの服に100均の洗濯ネットを縫い付け代用。右はインナー Spacer の類で、フルハーネス等で締付けられても空調服と下着の間に風の流れを確保、通常使いでも空調服に風の通り道が出来るので涼しくなります。

次号へ続く⇒



ベストタイプで脇下がメッシュ構造

る風か風商Nまてコ
のが今もか風商Nまてコ
か吹後：らを0近んい調
なきは。冷発1、のの服
！込フ。風見ネTでで長
？むアにしッA悪、袖
空んなまクKし検に
今調のりしクUか証つ
後服部つたーYら不い
にが分つ。ラOず可て
期登かあ時！の。で
待場らる代な書持
！す冷のはるけっ